

本校のプロフィール



【沿革と立地】

神戸ルーテル神学校は、1957年9月、太平洋戦争後の日本で宣教活動を始めたノルウェー・ルーテル伝道会によって創立されました。

後に運営母体が拡大され、現在では西日本福音ルーテル教会、近畿福音ルーテル教会およびノルウェー系ミッション3団体の協力によって運営されています。

大阪湾を一望する摩耶山麓の閑静な文教地区に位置し、交通の便にも恵まれています。



【教育方針】

本校は「恵みのみ・信仰のみ・聖書のみ」をかかげる宗教改革の福音的神学に立っています。

北欧の深く、暖かい敬虔主義の伝統を受け継ぎ、日々のデボーション、リトリート、祈祷会などを通し深い霊性の涵養をめざしています。

「聖書のみ」を基本に、ヘブル語・ギリシャ語を重視し、新・旧約聖書の釈義能力の習得に力を注いでいます。

ルター神学の実践的深みに触れつつ、現代の日本と世界に力づく福音を告げ知らせる働き人を教会に送り出すことを目指しています。

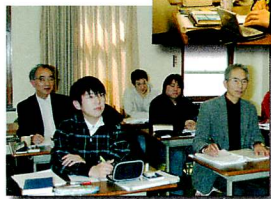


【学びの機会】

他神学校卒業生の神学修士号(M.Div.)資格取得のための道として編入制度が設けられています。聴講の形で学ぶことができ、また聖書神学、歴史神学、組織神学、実践神学とそれぞれの分野にわたって通信教材でも学ぶことができます。

インターネットを通じてより容易に学ぶことができるよう現在整備中です。さらに正規の授業とは別に、集中講座(リフレッシュ・コース)、聖書語学講座なども開いています。

学びの負担の若干軽い教職B課程も併設しています。



【生活・交わり】

単身者寮と食堂を完備、また通学も可能です。密度の高い学びと、小さな神学校ならではの暖かい雰囲気にも包まれた学生生活です。

休憩時間・放課後の学生室の交わりや折々にもたれるフェロウシップ、ソフトボール試合、バーベキュー大会なども学生生活の潤いです。学生の年齢的構成は全世代的で、青年からセカンド・キャリア組までバラエティに富み、世代間交流は学生生活をより充実したものにしています。



【蔵書・設備】

図書は約2万冊、インターネット・ホームページから蔵書検索ができます。ホームページには時間割、特別コース、諸行事の案内が掲載されています。

コンピュータ・ルームには複数台の端末が整備され、校内で無線LANが利用できます。



【付属機関】

付属の研究機関として、「関西ミッション・リサーチ・センター(KMRC)」があります。宣教学関係の出版、研究会議の開催、研修旅行などの活動をしています。

日本の宣教状況におけるルター神学の実践的意義を研究する「ルター神学研究会」は毎学期例会を開催しています。

また、「ディアコニア研究会」では教会の内外で隣人に仕える心とすべを学びます。



【広がり】

本校は、地方教会の具体的働きに情熱を持って取り組む姿勢と共に、世界宣教の視野をも重視します。また、学びと実践は車の両輪の関係にあることを思い、学びの水準を高め、その展望を広くすることに努めています。

神学校は「アジア神学協議会(ATA)」によって神学修士号(M.Div.)を授与する資格認定校です。

さらにAGST/Jの関西研修センターとして、Th.M.課程、Th.D.課程、そしてD.Min.課程の学びもできるようになっています。

また他の福音主義諸団体や教育機関との交流・協力も活発です。

